



## 屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の 一体的な点検に係る再講習会

事故防止調査研修センター

### 1 はじめに

製造所等のうち一定の条件の屋外タンク貯蔵所には第3種の固定式の泡消火設備を設置することとされています。屋外タンク貯蔵所に貯蔵される第4類の危険物の大半を占める石油系の引火性液体に対しては、消火用泡による消火が最も有効であるとされていますが、固定泡消火設備が有効に活用されなかったケースが散見されたことから、平成17年1月14日に「危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令」（平成17年総務省令第3号）及び「危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示の一部を改正する件」（平成17年総務省告示第30号）が公布され、平成18年4月1日から施行されました。

これにより、屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検が行われることとなり、第3種の固定式の泡消火設備を設ける屋外タンク貯蔵所に係る定期点検については、従前の定期点検で実施していた点検内容に加えて、泡消火設備の泡の適正な放出を確認する一体的な点検により行うことが定められ、一体的な点検は泡の発泡機構、泡消火薬剤の性状及び性能の確認等に関する知識及び技能を有する者が行うこととされました。

これらのことから、当協会では屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検に携わる方を対象として、平成17年度より「屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検に係る講習会」（以下、「初回講習会」といいます。）を開催しており、これまでに多くの方々に受講いただいております。

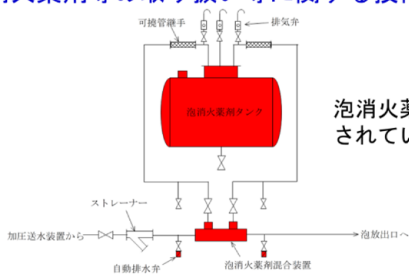
また、平成23年11月から平成26年1月までの短い期間に、石油コンビナート等における事業所で深刻な事故が4件発生いたしました。災害が発生した際に迅速、かつ、的確な対応により被害を最小限に止めるためには、必要事項の再確認や新たな知識の習得により技能の維持・向上を図ることが大切です。そのため、過去に初回講習会を受講されてから5年以上経過された方を対象として、平成27年度に再講習会を開講いたしました。

### 2 再講習会の内容

座学では、一体的な点検を実施するために必要となる知識を再確認していただく内容の他、最近の危険物行政及び事故事例について解説いたしております。

最近の危険物行政に関する内容として、PFOA又はその塩を意図的に含む有機フッ素化合物を使用している消火器、消火器用泡消火薬剤及び泡消火薬剤が、令和3年10月22日から化審法の規制対象とされたことから、既に規制の対象となっていたPFOS又はその塩を使用している泡消火薬剤等も含めた一体的な点検における留意事項等について解説しております。

PFOS及びPFOA（以下「PFOS等」という。）を含有する泡消火薬剤等の取り扱い等に関する技術基準（1）



泡消火薬剤タンクに貯蔵されている泡消火薬剤



消火器に充填されている泡消火薬剤

消火設備等に充填されたPFOS等含有泡消火薬剤の取り扱い等に関する技術基準

- ①漏出処理措置
- ②訓練等における措置
- ③譲渡・提供

PFOS等含有泡消火薬剤の取り扱い等に関する技術基準の解説

また、一体的な点検の実施に必要な泡の性能測定（標準試料の作成、標準混合率グラフの作成、泡採取並びに発泡倍率、25%還元時間及び混合率の測定）に関する実習では、受講者の方々に一連の泡の性能測定を直接行っていただき、実務に役立つ内容としています。特に再講習では実習に重点を置いた時間配分※としており、受講者の方々のアンケート結果でも高い評価をいただいております。

※実習の時間配分を初回講習会の60分に対して再講習会では90分とし、多くの受講生に泡採取を体験いただけるようにしています。また、再講習会ではたん白泡消火薬剤用機材を用いた実習となっています（初回講習会では水成膜泡消火薬剤用機材を使用）。

3 本年度の開催状況（初回講習会・再講習会）

令和4年11月30日までの開催実績は次表に示すとおりで、157人（初回講習会94人、再講習会63人）の方に受講していただきました。

開催場所	開催日	会場
札幌会場	(初回講習会) 令和4年8月31日(水)	北農健保会館
	(再講習会) 令和4年9月1日(木)	
東京会場	(初回講習会) 令和4年6月15日(水)	危険物保安技術協会
	令和4年9月7日(水)	
	令和4年9月8日(木)	
	(再講習会) 令和4年6月16日(木)	
	令和4年9月6日(火)	
大阪会場	(初回講習会) 令和4年10月4日(火)	大阪市立阿倍野防災センター
倉敷会場	(初回講習会) 令和4年10月19日(水)	ライフパーク倉敷
	(再講習会) 令和4年10月20日(木)	
北九州会場	(初回講習会) 令和4年7月27日(水)	北九州市民防災センター
	令和4年11月15日(火)	
	(再講習会) 令和4年7月28日(木)	
	令和4年11月16日(水)	

※仙台会場につきましては、開催を休止しています。

なお、今後の開催予定については、当協会ホームページ「セミナー・講習会」の本講習会サイトをご覧ください。来年度は、座学部分について、オンライン研修の導入を検討しております。詳細が決まりましたら、機関誌、当協会ホームページでお知らせします。



実習 (泡採取)



実習 (25%還元時間測定)